

桜美林大学の学生を対象にインターンシップを実施。

2019年7月30日～8月8日の期間、桜美林大学のビジネスマネジメント学群とグローバルコミュニケーション学群の2年生以上の学生17名を対象に、リーテックの日本法人とリートン本社（香港）での見学や作業体験を通じ、環境ビジネスについて考察しレポートへまとめることを目的としたインターンシップを実施しました。

1日目 国内インターンシップ：桜美林大学教室

リーテック社員による講義



午前はCSR 小野が「日本の環境問題と環境ビジネス」について講義を実施。地球温暖化やマイクロプラスチックゴミ、生物多様性への影響を説明し、その上で企業が取り組むべき環境配慮について話をしました。



午後はBD（Business Development）の佐藤伸太郎さんが「営業から見る消費者の環境意識」について講義。営業で会うお客様がどんな理由でリーテックに処理を頼まれるのか、実体験を元に話をしました。

2日目 国内インターンシップ：桜美林大学教室

午前は担当教員である劉教授が「一国二制度と香港の社会経済」の講義を実施。午後は香港への渡航について旅行会社から説明を受けたり、リーダーを決めて、安全にインターンシップができるように準備をしました。17名の学生を4チームに分けて、食事や出かける際などもチームごとに移動をするように取り決めました。香港デモが発生している中での渡航のため、細心の注意を払いました。

3日目 国内インターンシップ：リーテック東京本社・東京 RSC センター

東京本社にてリーテック社員による講義



午前はリーテック東京本社に集合し、オフィスを見学。その後、会議室にて守口センター長の松本さんが「リーテックのリサイクルビジネスにおける企業戦略」について講義。産業廃棄物の処理についても知識を深めました。

東京 RSC センターにて解体体験



午後は東京 RSC センターへ移動し、センター内を見学。実際にルーターを解体したり、磁気テープを破壊したり、様々な解体を体験。更には学生が解体したプラスチックの外装や基板などを破砕機で粉々にするところも見られました。

4日目 国内インターンシップ：相模原市北清掃工場・リーテック相模原センター

ゴミ処理工場を見学



相模原市北清掃工場にご協力いただき、相模原市のゴミがどのように処理されているか説明を受け、施設内を見学させていただきました。公害物質を外に出さない工夫などもたくさん教えてもらいました。

相模原センターでデータ消去を体験



清掃工場の見学の後は、リーテック相模原センターへ移動し、モバイルとIT機器のデータ消去方法について学習。実際に、磁気破壊と物理破壊を体験し、しっかりとデータが消去されていることを実感してもらいました。

桜美林大学とのグローバルインターンシップ 実施の背景

営業で桜美林大学を訪れたBDの佐藤さんがたまたま学生時代の恩師と再会し、リーテックのCSR活動を紹介。文京学院大学の学生を処理センターへ招き、リサイクル体験会を実施したことを話したところ、教授に興味を持っていただき、インターンシップの実施に繋がりました。2018年12月から教授と議論を重ね、授業内容や見学の内容について検討を開始。桜美林大学ではインターンシッププログラムが多く存在し、海外研修が必須科目でもあるということですが、日本法人と海外拠点、両方を訪問・見学ができるプログラムはとても珍しく、リーテックのプログラムにとっても魅力を感じていただきました。

リーテックの皆様方のご協力のもと、産学連携による今回のプログラムは成功裏に実施することができました。参加した学生たちだけではなく、私にとっても環境ビジネス、クロス・ボーダー環境ビジネス戦略、各国のオペレーションなどを知る良い機会となりました。心から感謝申し上げます。



桜美林大学
教授 劉 敬文さん

このプロジェクトを通じて、母校に少しでも恩返しができたのかなと思っています。実際に大学で講義を行なったことは自分自身も大変勉強になりました。また、この企画が成功したのも、ご協力いただいた皆様のおかげです。本当にありがとうございました。



(桜美林大学 OB)
BD 佐藤 伸太郎さん

5日目 海外インターンシップ：香港

朝7:00に成田空港へ集合。朝早くの集合であったため到着遅れなどを懸念していましたが、全員が時間通りに集合し、スムーズにチェックインや手荷物検査を終えることができました。フライトも遅れることなく、定時に到着。空港からホテルへの移動はシャトルバスをチャーターしていたため、全員が到着口ピーエムへ出たのを確認して受付場所へ。学生が1人、空港内にスーツケースを忘れて出てきてしまうという事件もありましたが、幸いバスに乗る前に気づくことができ、無事にスーツケースを受け取りホテルへ移動することができました。ホテルに着いた後は、全員で中華料理をいただきました。

6日目 海外インターンシップ：エコパークビジターセンター・リートン本社オフィス



午前は香港エコパークにあるビジターセンターを訪問。香港の都市ゴミをテーマにした教育センターであり、ゴミのジオラマや廃棄物処理の映像を見ることで、香港での廃棄物処理の様子や現状を知ることができました。



リートン本社のオフィス近くにある『小樽食堂』にてウエルカムランチを用意。親睦を深めてもらったあとは、リートン本社で香港EHS担当のレイチェルさんに「リートンのビジネスモデル」について講義をしていただきました。

実はこの日、香港の広い範囲でデモの集会が行われており、地下鉄全線がストライキ。本社の周りも交通規制がかかるということで、講義を途中で切り上げ、チャーターしていたバスで急遽ホテルへ戻りました。香港に滞在した5日間のうち、もっともデモの影響を受けた日となりました。

7日目 海外インターンシップ：TMD・SK2・HSK

TMD：屯門 (Tuen Mun) エリアにあるセンターの見学

ホテルからバスで1時間ほどかけて屯門エリアのセンターへ向かいます。センターの説明はリートン香港の小森田さんが担当してくださり、学生も日本語での説明にホッとしている様子でした。このセンターでは部品化・再資源化されるものが多く入荷されており、機器の解体の様子を見学しました。

SK2とHSK：洪水橋 (Hung Shui Kiu) エリアにあるセンターの見学とレクチャー



HSKで記念撮影

SK2では、まずオフィスの会議室スペースへ移動し前日の講義の続きを実施しました。講義を終えてから見学をスタート。SK2ではモバイルやIT機器のデータ消去などが行われています。リーテック相模原センターで見た機械やデータ処理のシステムを見ることができ、グループ会社として同じ手順で同じ作業をきちんと行っていることを理解してもらいました。また、お客様の指定により、ダンボールの口ゴママークが見えないように処理をしていたり、黒いラップで梱包するなど、多くの機密情報を厳しく管理していることがよくわかりました。HSKの見学ではIT機器以外にも有名ブランドのアクセサリなども取り扱いがあるという説明を受けました。見学当日は納品がなく見ることはできませんでしたが、リサイクルの可能性を感じました。センター見学の後は2つ目のレイチェルさんの講義「香港の環境問題とリサイクルビジネス」を実施。香港は廃棄物を燃やさずに埋め立てているが、その対応にも限界がありリサイクルすることがとても重要であること、リートンはその重要な役割を担っていることなどの説明を受けました。



香港の夜景

この日はデモの活動が活発でないことを確認し、夜は全員で2階建てバスに乗り、香港の夜景を楽しみました。当初は、ビクトリアピークからの眺めを楽しむ予定でしたが、治安を考慮し九龍 (Kowloon) 側より香港島の景色を見ることにしました。この2階建てバスは尖沙咀 (Tsim Sha Tsui) と女人街 (Tung Choi Street) を結ぶバスのため、景色を堪能したあとは女人街で降りて市内散策。事前に決めたチームごとにまとまって行動をしました。

8日目 海外インターンシップ：市場調査

この日はチームごとにテーマを決めて、市場調査に出発。九龍エリア、香港島、香港ディズニーランドなど学生は様々な場所を訪れ、日本と香港の違いについて体感しました。カフェではプラスチックストローが廃止されて紙ストローが使用されていたり、スーパーなどではプラスチックバッグの有料化など、環境問題に対する取り組みも多く実施されていました。香港の街中には多くのゴミ箱が設置されていますが、分別ができていない、ゴミが溢れかえっているなど捨てる人の意識がもう少し高くなるともっとよくなるのかなと感じました。



市場調査の後には、尖沙咀に集合し全員で飲茶を食べました。リートン本社からは小森田さんが参加、見学中には聞くことができなかった他の拠点や他の国の事業内容などについても話を聞く機会になりました。今回参加してくれた学生は、ゼミや普段の授業と一緒に学生ばかりではなく、今回初めて顔を合わせた方も多くいたので、初日の夜などは学生同士の会話もごちない部分がありましたが、様々な行程と一緒に体験することで、仲良く、最終日の夕飯は会話が飛び交っている印象でした。

9日目 海外インターンシップ：帰国

11:00にチェックアウトを終え、シャトルバスで香港空港へ向かいました。この日はデモの影響を受けず、予定時刻ぴったりに空港に到着、何事もなく日本行きの飛行機に乗ることができました。翌日は桜美林大学でインターンシップのレポート発表会があるため、飛行機内ではほとんどの学生がレポートを作成。5時間のフライトはあっという間に終わりました。日本に到着してからは流れ解散とし、それぞれの帰路に向かいました。

9日間のグローバルインターンシップを終えて・・・

今回参加してくれた学生は全員が携帯電話を新品で購入しており、初日の講義を受けても「中古製品を買いだめとは思わない」と言っていました。インターンシップ後のレポート発表会では、数名の学生が「データ消去やクリーニング作業を見て、きちんと処理されていることがわかり、さらには環境に良いことであれば、今後は積極的に中古製品を使おうと思う」と言ってくれました。少しずつではありますが、将来世代へ向けたリサイクルへの啓発活動ができたことを嬉しく思います。

リサイクル体験会第2弾

小学生を対象に出張リサイクル教室を実施

2019年8月21日にキッズベースキャンプα二子玉川へ通う小学3年生以上を対象とした出張リサイクル教室を実施。白衣に身を包み、パソコン博士とその助手に扮したリーテック社員が小学生12名にパソコンの解体方法やリサイクルの大切さを教える授業を行いました。

出張リサイクル教室 レポート！

<タイムスケジュール>

- 14:00 リサイクル教室スタート
パソコン博士とその助手について紹介
- 14:10 リユースとリサイクルについての説明
- 14:15 パソコンの解体開始
- 15:30 パソコンの解体に関するクイズ
- 15:50 修了証の授与
- 16:00 リサイクル教室終了



パソコンの解体に
参加してくれた小学生全員へ
修了証をお渡ししました！

パソコンの解体体験！



© 東急キッズベースキャンプ
解体している様子

2～3人1組になって1つのパソコンを解体していきます。順番にネジを外したり、コードを抜いたり。ドライバーでネジを外す、押す、引っ張る、ひねるなど部品によって異なる行程で解体を進めていきます。

クイズに挑戦！



© 東急キッズベースキャンプ
クイズの説明をする博士

解体のあとは、パソコンの部品に関するクイズを行いました。磁石を使った鉄とアルミニウムの見分け方や、含まれている金属の重さや価値など。壊れて使えなくなったしまったパソコンでも貴重な資源になることを知ってもらいました。

出張リサイクル教室に参加した社員からのコメント

最初は小学生相手にパソコンの解体がスムーズに行えるか心配でしたが、そんな心配をよそに、みんな興味津々でパソコンを解体していた姿が印象的でした。最後に「楽しかった！」と言ってもらえたことがとても嬉しかったです。



パソコン博士
松本さん
(守口センター)

資料を作成した時点で小学生にこのパソコンの解体が出来るのか、すごく不安でしたが、自分の予想を裏目に、みんなすごく楽しそうに解体を進めていたので、順応性の高さにとっても驚きました。また同時にみんなの喜ぶ姿に達成感を感じました。



博士の助手
佐藤さん
(守口センター)

イベントに参加した小学生はパソコンの解体をとて楽しそうに行っていました。2、3人グループになって行いましたが、途中で誰がどの部品を解体するかで言い合いになったりもしましたが、パソコンがどのようなマテリアルでできているかを楽しく学べたようでした。



博士の助手
松島さん
(人事総務)

パソコン本体のカバーを外して、中身を見た時の、「すごい」という声とキラキラした目で中身を覗き込む姿がとても印象に残っています。普段使っているものがどんな素材でできていて、それをどうやってリサイクルするのか、少しでも考えてくれるキッカケになればいいと思います。



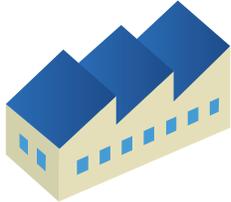
博士の助手
小野
(CSR)

第4回 学び塾「在庫管理」の目的と方法について

ファイナンス小林さんより、在庫管理の重要性について説明をしてもらいました！

そもそも在庫とは？

販売を目的とした、自社に所有権があるモノ。



- ①リーテックの倉庫にある製品
 - ②海外拠点にあっても日本法人に所有権があればリーテックの在庫
- 倉庫にあっても所有権が移っていないものは在庫ではなく、預かり品です！**

在庫は鮮度が命！

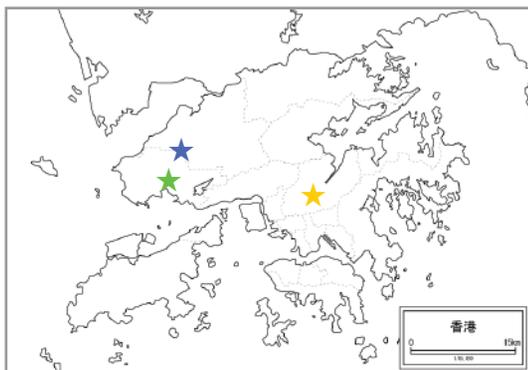
リーテックが取り扱っているIT/ モバイル機器は古くなってしまうと製品の価値が下がってしまいます。なるべく価値の高い状態で市場へ再出荷するためにも、在庫を適正に管理し、必要な時に必要な量を出荷できるように準備をすることが大切です。

在庫管理に必要な 5S！

- 1 **整理** 要らないものを捨てる
- 2 **整頓** 決められた場所に置く
- 3 **清掃** 掃除をして綺麗にする
- 4 **清潔** 綺麗な状態を維持する
- 5 **躰** みんながルールを守る

整理整頓されている倉庫では、ものが探しやすく、効率よく仕事をするのが可能です。忙しくて、使ったものを元の位置に戻す、決められたスペースで製品を保管しましょう。数量や金額の確認も大切ですが、商品を積み上げすぎて倒してしまったら、怪我をしたり製品が壊れてしまう可能性があります。きちんと在庫を管理し、安全に作業することを心がけましょう。

LiTong 香港レポート！香港のファシリティはこんなところ！



＜インターンシップで訪問したファシリティ＞

★ リートン本社オフィス ★ TMD ★ SK2・HSK

リートン本社のオフィスは火炭というエリアのインダストリアルセンター内にありました。とてもコンパクトなオフィスなため、今回のインターンシップでは会議室に丸椅子を置き、全員が入れるように対応してもらいました。TMDのセンターでは、偶数階のエレベーターと奇数階のエレベーターがあり、乗り間違えると大変なことに……。SK2とHSKは平屋で大きな敷地のセンターで、多くの荷物が行き来しており、とにかく暑かったです。唯一、データ消去を行う部屋が涼しく、まさにオアシスでした。センター内は写真撮影禁止のため、詳しくご紹介できず残念ですが、セキュリティが厳しいことを実感しました。

編集後記



今回のグローバルでのインターンシップや小学生向けリサイクル教室など、多くの社員の方にご協力いただき成功させることができました。皆さま、本当にありがとうございました。香港では、学生が空港にスーツケースを置き去りにする事件から始まり、見学したセンターにカバンを忘れるとか、朝食付きでないプランなのにホテルの朝食勝手に食べちゃうとか、ホテルのWifi使いすぎて追加請求されたり、仲間割れや喧嘩みたいなこともあり、その対応で大変な部分もありましたが、学生にとっても、私にとっても、とても良い経験になりました。

CSR 小野 真菜